

2024年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年8月7日

上場会社名 株式会社ウィルグループ 上場取引所 東
 コード番号 6089 URL <https://willgroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 角 裕一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 高山 智史 (TEL) 03-6859-8880
 四半期報告書提出予定日 2023年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切り捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	34,435	△2.8	1,132	△20.9	1,195	△16.1	751	△17.2	723	△4.6	1,441	△10.5
2023年3月期第1四半期	35,441	12.4	1,431	26.0	1,425	24.4	906	9.0	758	8.0	1,611	111.6

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	31.91	31.71
2023年3月期第1四半期	33.60	33.31

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	52,551	16,168	15,080	28.7
2023年3月期	54,939	15,877	14,638	26.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	44.00	44.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	44.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	69,000	△4.6	1,900	△35.2	1,850	△37.2	1,230	△38.2	1,230	△29.5	54.27
通期	144,000	0.0	4,200	△21.0	4,100	△20.3	2,900	△16.2	2,800	△13.5	123.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① I F R Sにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	22,944,100株	2023年3月期	22,944,100株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	272,553株	2023年3月期	284,850株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	22,665,398株	2023年3月期1Q	22,572,255株

（注）期末自己株式には、役員向け株式交付信託の所有する当社株式が含まれています。

（2024年3月期1Q267,144株、2023年3月期279,441株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
要約四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、世界的なインフレに対応した金融引き締めによる景気後退懸念、ロシア・ウクライナ情勢の長期化など、依然として先行き不透明な状況が続いています。日本経済は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症に移行し行動制限が緩和されたことで、個人消費の増加やインバウンド需要が回復し、緩やかに景気持ち直しの動きが見られました。しかしながら、海外景気の下振れリスク、エネルギー・原材料価格の上昇や、為替相場変動などに引き続き注視する必要があります。

このような状況の下、当社グループは、2026年3月期を最終年度とした中期経営計画「WILL-being 2026」の基本方針である国内Working事業の再成長に向け、建設技術者領域の拡大、正社員派遣・外国人管理受託の拡大等に取り組みました。

国内においては、セールスアウトソーシング領域、コールセンターアウトソーシング領域において新規案件開拓が伸び悩んだものの、その他の領域においては堅調に推移しました。

海外においては、前年度におけるポストコロナの急激な人材紹介需要が一巡し、人材紹介売上は減少したものの、安定した領域で展開している人材派遣は堅調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上収益34,435百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益1,132百万円（同20.9%減）、税引前四半期利益1,195百万円（同16.1%減）、四半期利益751百万円（同17.2%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益723百万円（同4.6%減）、及びEBITDA（営業利益＋減価償却費及び償却費）は1,654百万円（同15.9%減）となりました。

セグメント別の業績は、次の通りです。

①国内Working事業

国内におけるセールスアウトソーシング領域、コールセンターアウトソーシング領域、ファクトリーアウトソーシング領域、介護領域、建設技術者領域等カテゴリーに特化した派遣、紹介及び業務請負を行う国内Working事業については、セールスアウトソーシング領域、コールセンターアウトソーシング領域において新規案件開拓が伸び悩んだものの、その他の領域においては堅調に推移しました。最も注力している建設技術者領域においては、新卒含め過去最高の500名以上の社員が入社しました。また、顧客とのチャージアップの交渉も順調に進捗し、収益性も改善しました。

利益面においては、建設技術者領域における採用費、セールスアウトソーシング領域、ファクトリーアウトソーシング領域における正社員派遣の採用費、外国人管理受託における営業人員の増員等の先行投資を実施したことで販管費が増加しました。その一方で、株式会社ボーダーリンクの株式譲渡により株式売却益として786百万円を計上しました。なお、当第1四半期連結累計期間より同社を連結範囲から除外しています。

以上の結果、国内Working事業は、外部収益20,186百万円（前年同期比3.3%減）、セグメント利益1,364百万円（同15.0%増）となりました。

②海外Working事業

主にシンガポール、オーストラリアで展開している人材サービスについては、シンガポール、オーストラリアとも求人件数は足元では減少しているものの、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較すると依然として高い水準で推移しています。人材派遣については、行政案件など安定した領域で展開していることから堅調に推移しました。人材紹介については、前年度におけるポストコロナの急激な人材紹介需要が一巡したことから前年同期と比較して減少しました。

利益面においては、人材紹介売上の減少による売上総利益の縮小、人件費等の増加により減益となりました。

以上の結果、海外Working事業は、外部収益14,182百万円（前年同期比1.0%増）、セグメント利益456百万円（同46.7%減）となりました。

③その他

その他については、前連結会計年度末にハイブリッド株式会社の株式譲渡を行い、同社を連結範囲から除外したことにより減収となりました。

利益面においては、新たなプラットフォーム開発への投資を継続したことから、販管費が増加しました。

以上の結果、その他は、外部収益66百万円（前年同期比87.6%減）、セグメント損失69百万円（前年同期は66百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は25,670百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,996百万円減少しました。これは主に、その他の流動資産が220百万円増加した一方、現金及び現金同等物が2,406百万円、営業債権及びその他の債権が880百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

非流動資産は26,881百万円となり、前連結会計年度末に比べ608百万円増加しました。これは主に、その他の金融資産が178百万円減少した一方、円安による為替換算の影響を受けたことにより、のれんが386百万円、使用権資産が242百万円、その他の無形資産が204百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

以上の結果、総資産は52,551百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,388百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は25,708百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,705百万円減少しました。これは主に、その他の金融負債が609百万円増加した一方、借入金が1,462百万円、その他の流動負債が719百万円、未払法人所得税が582百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

非流動負債は10,673百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円増加しました。これは主に、借入金が286百万円減少した一方、その他の金融負債が360百万円増加したこと等によるものです。

以上の結果、負債合計は36,382百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,679百万円減少しました。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末における資本合計は16,168百万円となり、前連結会計年度末に比べ291百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が285百万円、非支配持分が150百万円それぞれ減少した一方、その他の資本の構成要素のうち、在外営業活動体の換算差額が710百万円増加したこと等によるものです。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は28.7%（前連結会計年度末26.6%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末に比べ2,406百万円減少し、7,184百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは591百万円の収入（前年同四半期は1,383百万円の収入）となりました。これは主に、営業活動その他による支出1,221百万円、法人所得税の支払額788百万円等があった一方、税引前四半期利益の計上1,195百万円、営業債権の減少額634百万円、減価償却費及び償却費の計上522百万円、営業債務の増加額142百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは252百万円の支出（前年同四半期は89百万円の支出）となりました。これは主に、投資活動その他による支出129百万円、有形固定資産及び無形資産の取得による支出122百万円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは2,996百万円の支出（前年同四半期は2,518百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純減額1,100百万円、配当金の支払額986百万円、長期借入金の返済による支出649百万円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月11日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	9,590	7,184
営業債権及びその他の債権	17,928	17,047
その他の金融資産	138	207
その他の流動資産	1,009	1,230
流動資産合計	28,666	25,670
非流動資産		
有形固定資産	1,139	1,129
使用権資産	6,349	6,592
のれん	8,120	8,507
その他の無形資産	5,996	6,200
持分法で会計処理されている投資	456	445
その他の金融資産	1,475	1,296
繰延税金資産	1,953	1,938
その他の非流動資産	782	771
非流動資産合計	26,272	26,881
資産合計	54,939	52,551

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	16,151	15,601
借入金	6,761	5,298
その他の金融負債	1,364	1,973
未払法人所得税	1,027	444
その他の流動負債	3,109	2,390
流動負債合計	28,414	25,708
非流動負債		
借入金	3,385	3,098
その他の金融負債	5,950	6,310
繰延税金負債	1,127	1,073
その他の非流動負債	184	191
非流動負債合計	10,648	10,673
負債合計	39,062	36,382
資本		
資本金	2,187	2,187
資本剰余金	△1,923	△1,900
自己株式	△274	△262
その他の資本の構成要素	890	1,582
利益剰余金	13,758	13,472
親会社の所有者に帰属する持分合計	14,638	15,080
非支配持分	1,238	1,088
資本合計	15,877	16,168
負債及び資本合計	54,939	52,551

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	35,441	34,435
売上原価	27,407	26,883
売上総利益	8,033	7,552
販売費及び一般管理費	6,662	7,256
その他収益	69	837
その他費用	8	1
営業利益	1,431	1,132
持分法による投資損益(△は損失)	△4	△10
金融収益	19	110
金融費用	21	37
税引前四半期利益	1,425	1,195
法人所得税費用	518	444
四半期利益	906	751
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	758	723
非支配持分	148	27
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	33.60	31.91
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	33.31	31.71

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益	906	751
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	21	△7
純損益に振り替えられることのない項目合計	21	△7
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	41	△11
在外営業活動体の換算差額	642	710
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	683	698
税引後その他の包括利益	704	690
四半期包括利益	1,611	1,441
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,422	1,415
非支配持分	189	25

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素合計	利益剰余金	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2022年4月1日残高	2,163	△2,266	△274	464	11,310	11,398	1,723	13,121
四半期利益	-	-	-	-	758	758	148	906
その他の包括利益	-	-	-	663	-	663	41	704
四半期包括利益合計	-	-	-	663	758	1,422	189	1,611
剰余金の配当	-	-	-	-	△776	△776	-	△776
自己株式の処分	-	-	-	-	-	-	-	-
株式報酬取引	5	10	-	-	-	16	-	16
企業結合による変動	-	85	-	-	-	85	△588	△502
その他	-	-	-	-	-	-	0	0
所有者との取引額合計	5	95	-	-	△776	△675	△587	△1,263
2022年6月30日時点の残高	2,169	△2,170	△274	1,128	11,292	12,145	1,324	13,469

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素合計	利益剰余金	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2023年4月1日残高	2,187	△1,923	△274	890	13,758	14,638	1,238	15,877
四半期利益	-	-	-	-	723	723	27	751
その他の包括利益	-	-	-	692	-	692	△2	690
四半期包括利益合計	-	-	-	692	723	1,415	25	1,441
剰余金の配当	-	-	-	-	△1,009	△1,009	-	△1,009
自己株式の処分	-	△2	11	-	-	9	-	9
株式報酬取引	-	26	-	-	-	26	-	26
企業結合による変動	-	△0	-	-	-	△0	△176	△176
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
所有者との取引額合計	-	23	11	-	△1,009	△974	△176	△1,150
2023年6月30日時点の残高	2,187	△1,900	△262	1,582	13,472	15,080	1,088	16,168

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,425	1,195
減価償却費及び償却費	535	522
株式報酬費用	25	32
営業債権の増減額 (△は増加)	143	634
営業債務の増減額 (△は減少)	435	142
営業活動その他	△409	△1,221
小計	2,154	1,305
利息及び配当金の受取額	0	99
利息の支払額	△20	△25
法人所得税の支払額	△751	△788
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,383	591
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△107	△122
投資活動その他	17	△129
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89	△252
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300	△1,100
長期借入れによる収入	1,975	—
長期借入金の返済による支出	△738	△649
リース負債の返済による支出	△344	△295
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 取得による支出	△2,353	—
非支配持分への配当金の支払額	△56	—
配当金の支払額	△759	△986
財務活動その他	57	35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,518	△2,996
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	286	251
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△938	△2,406
現金及び現金同等物の期首残高	8,973	9,590
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,034	7,184

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

①報告セグメントの概要

当社グループは、サービス別に、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定者が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う事業セグメントを基礎として報告セグメントを決定し、以下の2つを報告セグメントとしています。

各報告セグメントの内容は以下の通りです。

報告セグメント	事業内容
国内Working事業	主に国内における販売、コールセンター、工場、介護施設、建設技術者等カテゴリに特化した派遣・紹介・業務請負、フォースタートアップス(株)が展開するスタートアップ企業向けの人材紹介を中心とした人材支援サービス等を行っています。
海外Working事業	主にシンガポール、オーストラリアを中心に、人材派遣・紹介を行っています。

上記に加え、ITエンジニア/クリエイター向け賃貸住宅(TECH RESIDENCE)事業等がその他に含まれています。

②報告セグメント情報

報告セグメントの利益は、営業利益をベースとした数値です。

報告セグメントごとの情報は以下の通りです。

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額
	国内Working 事業	海外Working 事業	計			
売上収益						
外部収益	20,866	14,042	34,909	532	—	35,441
セグメント間収益(注1)	17	—	17	1	△19	—
計	20,884	14,042	34,926	533	△19	35,441
セグメント利益	1,186	855	2,042	△66	△543	1,431

(注1) セグメント間収益は、通常の市場価格に基づいています。

(注2) セグメント利益の調整額△543百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△543百万円が含まれています。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費です。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額
	国内Working 事業	海外Working 事業	計			
売上収益						
外部収益	20,186	14,182	34,369	66	—	34,435
セグメント間収益(注1)	9	—	9	3	△12	—
計	20,196	14,182	34,378	69	△12	34,435
セグメント利益	1,364	456	1,820	△69	△617	1,132

(注1) セグメント間収益は、通常の市場価格に基づいています。

(注2) セグメント利益の調整額△617百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△617百万円が含まれています。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費です。